

保育だより

2024年 1月号

社会福祉法人いずみ会

幼保連携型認定こども園

つるた乳幼児園

園長 福澤 紀子

北津軽郡鶴田町大字鶴田字相原68-2

電話 0173 (22) 3765

新年あけましておめでとうございます

園長 福澤 紀子

『こども家庭庁』は、こどもがまんなかの社会を実現するために、こどもの視点に立って意見を聞き、こどもにとっていちばんの利益を考え、こどもと家庭の福祉や健康の向上を支援し、こどもの権利を守るため、こども政策に強力なリーダーシップをもって取り組みます。として2023年4月に発足しました。

そして2022年6月に設立し、2023年4月に施行した「こども基本法」では、すべてのこどもは大切にされ、基本的な人権が守られ、差別されないこと。すべてのこどもは、大事に育てられ、生活が守られ、愛され、保護される権利が守られ、平等に教育を受けられること。年齢や発達程度により、自分に直接関係することに意見を言える、社会のさまざまな活動に参加できることとされています。この内容には『児童の権利条約』の4原則「差別の禁止」、「生命、生存及び発達に対する権利」、「児童の意見の尊重」、「児童の最善の利益」も盛り込まれています。子どもの置かれている環境が劣悪で実の父母による殺人や虐待が後を絶たず、子ども自身が安心安全の中で伸び伸びと健やかに成長できるようにとの願いから制定されたものと思います。一日も早く“こどもまんなか社会”が実現することを祈りたいと思います。

さて“こどもまんなか社会”これらの内容は“つるた乳幼児園”そのものだということに気づいているでしょうか。昭和47年4月、故

塩見久男先生が日本国憲法、児童福祉法、児童憲章、児童権利条約等を読み解き、更に深い信仰心から、一人一人のいのちは神様から必要とされてこの世に誕生した大切なものであること、差別してはいけないこと、平等の不公平で個性を尊重し、一人一人の子どもの行為そのものを受け入れて、子どもに仕える人になりなさい、生かされていることに感謝し、隣の人を思う気持ちを大事にしましょう、本物の愛の追求をしましょうと唱えています。そこには理念と私たちが求める人間像までも示して創設しています。今年で53年目を迎えますが、本物は永遠に揺るぎのないものと感じています。改めて“つるた乳幼児園”の理念と人間として求めていかなければならない道を次世代に目に見える形で示していけたらと自分を奮い立たせています。本年もよろしくお願い致します。



◆ 報 告 ◆

◎クリスマスこども会 12月16日(出)

4年振りの制限のないクリスマスこども会を保護者の方々、来賓の方々、地域の方々と共に行う事が出来ました。一部のキャンドルセレモニーでは、黒石教会の伊丹牧師のお話を聞きました。二部の祝会では、子ども達のページェント、職員による寸劇とダンス、最後はサンタが登場し、楽しい時を過ごしました。

※募金報告は次月に致します。

◆ 行 事 ◆

◎「青の煌きダンス出前教室」

1月18日(木) 9時30分～10時



◆ 予 告 ◆

◎第5回保育学校 2月29日(木)

◎成長を喜ぶ会・入園説明会 3月16日(出)

◎修了式及び感謝会(かなりや) 3月20日(木)

◎進級・入園式(園児のみ) 4月1日(月)

◆ 年末年始の過ごし方 ◆

西北管内及び当園においてもインフルエンザが流行しています。年越し正月と楽しいことがたくさんあり、人との交流も多いことが予想されますので、予防には十分にお気をつけ下さい。年始登園時、微熱、咳、鼻水等々体調不良の場合は自粛をお願い致します。

● 子育て支援センターより ●

◎リフレッシュタイム 1月10日(木)、24日(木)

